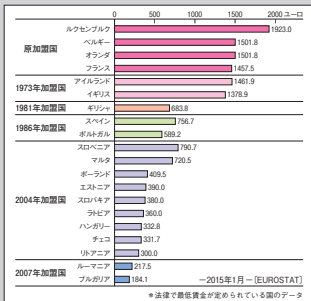


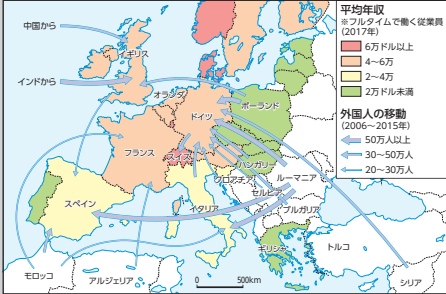
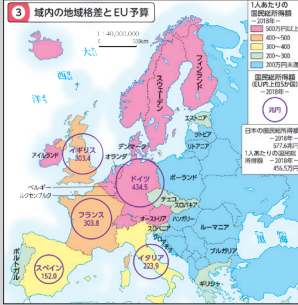
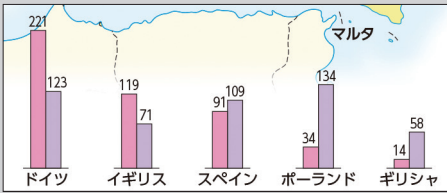
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.78 EU が抱える課題
2. 目標 (1) EU が現在抱える経済格差の問題を、地理的広がりや歴史的背景からとらえ、理解できる。
(2) EU が模索する新たな統合の在り方について考察できる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・ EU の拡大に伴って、原加盟国と新規加盟国との間に生じている課題や問題点について理解している。
思考・判断・表現	・ 現在のヨーロッパ諸国が抱える課題を EU 統合の側面から考察し、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・ ヨーロッパ州が現在抱える課題に関心を持ち、今後の EU の在り方について意欲的に考えている。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. イギリスの国民投票時の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。	 p.78 2	○ 「EU からの離脱を決める国民投票の結果に喜ぶ人々」の写真を題材にし、旗に記されている内容に注目させ、EU 離脱に喜ぶ人がいる理由を考えさせながら、本時への導入を図る。
	2. EU を離脱するメリットやデメリットを予想し、学習課題への見通しを持つ。	国旗に記された文字を読んでみよう。 彼らはなぜ喜んでいるのだろうか。	○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
学習課題：統合を進めてきた EU では、どのような課題が生じているのだろうか。			
展開	3. EU の拡大に伴い、加盟国内の経済的な格差が拡大していることを理解する。	 「EU 諸国における最低賃金の比較」	○ 新たに加盟した国々の多くは経済規模が小さく、所得水準が低いため、EU 加盟国増加に伴って EU 内の経済格差が拡大していることに気付かせる。
展開		なぜEU拡大に伴って問題が出てきたのだろうか。	

展 開	4. 経済格差が広がる理由とその問題を考える。 5. 統合に向けて、どのような対策がとられているか理解し、その課題について考える。	 平均年収 キラルタイムで働く従業員 (2017年) 外国人の移動 (2006~2015年) 50万人以上 30~50万人 20~30万人 p.78 1 この図から読み取れることを挙げてみよう。  域内の地域格差とEU予算 1人あたりの国民総所得 200万ユーロ以上 100~200万 50~100万 20~50万 10~20万 5~10万 1人あたりの国民総所得 200万ユーロ以上 100~200万 50~100万 20~50万 10~20万 5~10万 地図帳 p.53 ③ EU が現在抱える課題を考え、まとめてみよう。  ドイツ 221 123 イギリス 119 71 スペイン 91 109 ポーランド 34 134 ギリシャ 14 58 地図帳 p.53 ③ 資料中の国を EU の原加盟国と後から加盟した国に分けてみよう。 資料から分かることを挙げてみよう。	○ 賃金の低い国から高い国へ移動していることを確認させ、東ヨーロッパから人材流出が進む一方で、西ヨーロッパでは自国民の雇用に不安を抱えていることに気付かせる。 ◆ 労働者の移動に伴う問題を、流入国・流出国両方の立場から考察させる。 ○ ヨーロッパの経済格差について考えさせる。 ◆ ヨーロッパでは北部・西部ほど1人あたりの国民総所得が高く、南部・東部ほど低くなっていることを理解させる。 ○ 主な国の拠出金の額と予算の配分額の関係について考察させる。 ◆ 拠出金と配分額には大きな差があり、国によっては不公平感を抱えていることを理解させる。
整 理	6. 本時のまとめをする。 7. 学習課題への振り返りの活動を行う。	EU の統合によって、EU 域内ではどのような課題が生じているのか、説明しよう。 「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	◆ EU の統合によって域内の経済格差の拡大が生じているなどの課題を説明できたか確認する。 ○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。
節の振り返り	8. 「節の問い」への振り返り活動を行う。	ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。 この節で学んだことから、次の節の学習に生かせることを考えてみよう。	○ 「節の振り返り」へ記入させ、次節の学習へつながりを持たせる。